

社会福祉法人まつかぜの会 令和6年度事業報告

1 事業報告にあたって

令和6年の夏は、地球温暖化の影響とみられる記録的な高温と日本海側の豪雨に国民全員が大変苦しい思いを体験いたしました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当法人事業所においては、特に熱中症にならないようにそれぞれ工夫しながら対処してまいりました。おかげさまで利用者・職員とも皆無事に乗り越えられたことに安堵しております。

就B事業はコロナ感染前の活気が戻り、豆のちからの製造販売とイベント販売、みらいずのリユース事業その他受注作業ともに売り上げは安定してまいりました。しかし、令和6年度に示された報酬改定に見合った体系にするためには工賃向上計画の見直しが必要になります。目標をしっかりと定めそのためにはどのような手立てが必要かなど改めて考えてみる必要があります。次年度に向けた課題といたします。

就B豆のちからから、就労移行支援事業所に1名、就A事業所に1名それぞれご本人の希望で飛び立ちました。力のある方たちでしたのでご自分の夢に向かって進んでいくことを応援しております。同時に当法人事業所に通所している利用者一人ひとりの個性を大事にし、併せて安全・安心・快適なサービスの提供のもとで自立に向けて成長できるよう支援に努めてまいりました。

また、次年度に向けて職員配置に余裕をもてるようにするため、年度末にはハローワークイベントの力をお借りしながら数名職員採用の見込みを立てることができました。

課題は山積しておりますが、今後とも経営・運営に精一杯取り組んでいく所存でございます。

2 法人の概要

(1)法人名 社会福祉法人まつかぜの会

(2)所在地 千葉県松戸市緑ヶ丘2丁目349番地

(3)法人の事業 第2種社会福祉事業

障害福祉サービス事業

① 就労継続支援B型事業所 豆のちから(定員20名)

住所:松戸市緑ヶ丘二丁目349番地

② 多機能型事業所 みらいず(定員32名)

主たる事業所みらいず 住所:松戸市稔台七丁目31番の1 ハイピア稔台1階

就労継続支援B型(定員12名) 生活介護(定員8名)

従たる事業所ぱれっと 住所:松戸市西馬橋広手町13番地

就労継続支援B型(定員12名)

③ 共同生活援助事業所 花音

グループホームルピナス(定員8名)

住所:松戸市南花島二丁目30番地の6

④ 短期入所(共同生活援助花音空床利用型)

3 役員等の構成

評議員 7名

理 事 6名

監 事 2名

(評議員選任・解任委員 3名)

4 令和6年度評議員会・理事会・監事会等の開催状況

評議員会

開催年月日	出席人数	決議事項・報告事項等
第1回 令和6年6月15日	評議員5名 理事3名 監事1名	議案第1号 令和5年度計算書類及び財産目録について 報告第1号 令和5年度監査報告について 報告第2号 令和5年度事業報告について 報告第3号 社会福祉充実計画について

理事会

開催年月日	出席人数	議案事項・報告事項等
第1回 (書面決議による) 令和6年4月10日	理事6名 (同意書) 監事2名 (確認書)	議案第1号 給与規定の改正について
第2回 令和6年5月18日	理事5名 監事1名	議案第1号 令和5年度事業報告について 議案第2号 計算書類及び財産目録について 議案第3号 社会福祉充実計画について 議案第4号 定時評議員会の開催について 報告第1号 理事長の職務執行状況報告について 報告第2号 令和5年度決算に係る監事監査報告について
第3回 令和6年11月20日	理事6名 監事1名	議案第1号 令和6年度第1次補正予算について 報告第1号 理事長の職務執行状況報告について
第4回 令和7年3月19日	理事5名 監事2名	議案第1号 令和6年度第2次補正予算について 議案第2号 就業規則の改正について 議案第3号 給与規程の改正について 議案第4号 育児・介護休業時に関する規則の改正について 議案第5号 非常勤職員就業規則の改正について 議案第6号 令和7年度事業計画について 議案第7号 令和7年度予算について 報告第1号 理事長の職務執行状況報告について

監事会

開催年月日	出席人数	監事監査
令和7年5月17日	監事2名・理事2名	令和6年度の監事監査の執行

5 基本方針

- (1)利用者一人ひとりの人権を守り心身共に育成されるよう支援に取り組みました。
- (2)利用者の個性や思い、ライフスタイルに添った個別支援計画のもとニーズに応じた支援をしました。
- (3)職員の知識向上に向け、諸研修会(オンラインを含む)に参加しました。
- (4)地域との結びつきを大切にイベントや地域フォーラム等に積極的に参加しました。
- (5)共同販売推進協議会や就労支援ネットワークに参加し、他の障害者支援事業所との連携を図り、地域における社会資源や支援についての情報交換や連携した活動を実施いたしました。事業所の職員を積極的に参加させることにより、人材育成やスキルアップにもつながりました。
- (6)法人経営の透明性の確保に努め、閲覧対象書類を公表するとともに、運営についてはホームページや通信等で各事業所の様子を随時発信してまいりました。

6 重点目標

(1) 経営基盤の強化

① 既存の就労支援B型事業の安定と強化

今年度は、法人事業所全体で2人の利用者が新しく入ってきました。また、豆のちからの利用者2人はステップアップのため、就労移行と就A事業所に移行しました。このことは当法人としても誇らしいことであると思っています。ですが、定員を満たすにはまだ5人ほどの利用者が足りておりません。就B事業は利用者の思いや適正などみながら考えなければなりません。事業安定と強化につなげるため、今後も引き続き検討しながら事業展開をしてまいります。

② 必要な設備機器の導入

パン製造の過程で必要とされるホイロを購入いたしました。その為にパンの製造がスムーズになり増量につながりました。

③ 利用者工賃の向上

就B事業所(豆のちから、みらいず)において、通常の販売に加えてイベント販売での売り上げが多くあり、また施設外就労が新規に入ったことにより、利用者工賃向上につながりました。

④ 共同生活援助花音の運営・経営の安定

今年度は新たに1名の入居者(女性)があり、また令和7年2月に利用者(女性)が1名退所しました。その他ロングショート利用者(男性)がありましたが、空室状況によりショートステイの受入れができませんでした。利用者によっては本人の体調(精神面が多い)のこともあり通常の利用ができなことが経営の不安定に繋がる一因と考えます。

(2)職員の人材育成

今年度は、強度行動障害支援養成研修・権利擁護研修等を受講しました。利用者にしっかりと向き合うノウハウを学べる研修で、今後も支援に役立てられることを期待しております。

(3)職員採用計画について

令和7年2月にハローワークのイベントとして、障害者施設の見学ツアーの依頼があり受諾しました。15名の見学者があり、うち10名のプレ面接会を通し、結果正職員1名とパート支援員2名を採用いたしました。その他パート支援員2名を採用して各事業所で勤務しております。

(4)財務基盤の安定について

法人財務については厳しい状況ではありましたが、必要とされるサービスは継続的に提供できるように

努めました。

7 職員研修

月日	テーマ・内容	主 催	参加者
8月 6日 20日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	未来ケアカレッジ	清水
8月 21日 ～28日	サービス管理責任者基礎研修 (動画)	千葉県健康福祉部障害福祉課	浦野
8月 25日 ～28日	豆腐製造研修	(株)まちの豆腐屋プロジェクト 涌谷豆腐店	松村
9月 5日	社会福祉施設における防災対策基 礎講座	千葉県消防学校防災研修センタ ー	清水
9月 6日	生活支援員世話人対象研修会	千葉県知的障害者福祉協会	堺・手代木
10月 28日 30日	サービス管理責任者基礎研修 (演習)	千葉県健康福祉部障害福祉課	浦野
1月 7日 ～30日	社会福祉施設における感染症対策 (動画)	千葉県健康福祉部疾病対策課	全職員
1月 20日 21日	リーダーパワーアップ研修	千葉県知的障害者福祉協会	清水・松村
1月 20日 ～24日	社会福祉法人の会計と簿記研修 (動画)	千葉県社会福祉協議会	石村
2月 24日 ～25日	社会福祉施設施設長等研修	千葉県知的障害者福祉協会	柳町・市川

8 職員会議等

月日	内 容	出席数	詳 細
4月 24日	定例職員会議	9	新年度事業計画の確認、各事業所報告他
5月 28日	定例職員会議	10	事業所報告、利用者健康診断の件他
6月 25日	定例職員会議	12	事業所報告、個別支援計画作成の留意点他
7月 22日	定例職員会議	12	事業所報告、夏季休業中対応の件他
8月 26日	定例職員会議	11	事業所報告、第二次避難所の件他
9月 30日	定例職員会議	12	事業所報告、欠席時対応加算の取り扱いの件他
10月 28日	定例職員会議	10	事業所報告、職員健康診断の件他
10月 28日	感染症対策委員会	5	感染症対策指針の確認・見直し
10月 28日	防災対策委員会	5	災害時における二次福祉避難所について
11月 25日	定例職員会議	11	事業所報告・利用者冬季賞与の評価の件他
12月 23日	定例職員会議	12	事業所報告、感染症対策研修の件他
1月 20日	定例職員会議	10	事業所報告、新年度体制の準備他

2月26日	定例職員会議	10	事業所報告、協定等締結労働者代表の選出他
3月22日	虐待防止委員会	4	虐待発生状況報告・対応の確認
3月25日	定例職員会議	9	事業所報告、新職員採用の件他

9 苦情解決等

令和6年度において、本法人及び事業所に対する利用者及び保護者等からの苦情はありませんでした。

10 権利擁護と虐待防止等の取り組み

職員が権利擁護への意識を高め、利用者接遇の向上また質の高い支援を目指すため外部研修に参加しました。また、法人事業所職員全員が虐待防止マニュアルを共有し支援に生かすよう努めました。令和6年度においては、虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

11 感染症・衛生管理対策

感染対策委員会を立ち上げ、体制作りを検討いたしました。また全職員を対象に、「社会福祉施設における感染症対策について」の勉強会を行いました。

12 家族及び家族会との連携

新利用者の契約にあたり、重要事項説明や個別支援計画、また事業所の活動内容などについて本人及び家族に対し十分な説明をいたしました。

13 関係団体等との連携

- (1) 特別支援学校や関係機関等との情報交換を行い、在宅者や特別支援学校生等に体験実習の機会を提供し、進路選択の情報提供を行いました。
- (2) 他法人と連携し共同受注を受託しております。利用者の作業等や職員間の情報交換をすることでより良い支援になるよう努めました。
- (3) 就労支援ネットワークに積極的に参加して、他福祉サービス事業所と情報交換等することができました。
- (4) 協力医療機関と連携し、利用者の健康診断など速やかに対応できるように努めました。

豆のちから(就労継続支援B型事業)

1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

男性 10名
女性 7名
合計 17名(定員20名)

(1)年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	1	7	1	0	1		10	28.7
女性	0	4	1	1	1		7	33.2
計	1	11	2	1	2		17	30.6

(2)月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	383	400	378	395	308	336	370	354	355	331	316	375	4301
開所日	22	23	22	23	20	21	23	22	22	21	20	23	262
1日当り	17.4	17.4	17.2	17.2	15.4	16.0	16.1	16.1	16.1	15.8	15.8	16.3	16.4
利用率%	96.7	96.6	95.5	95.4	90.6	94.1	94.6	94.7	94.9	92.7	92.9	95.9	94.7

(3)工賃実績

	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	17人	18人	17人
平均工賃(一人当たり)	21,984円	23,709円	22,159円

2 事業報告

令和6年度は前年度に終了した施設外就労の売上げをどう補填し、工賃を維持するかが心配された状態でのスタートとなりました。また年度前半は豆腐製造において思うような製品が仕上がらずに、廃棄が続いてしまうという面ではスタートも上手くきれませんでした。そのためまずは豆乳の仕入れから見直し、工賃向上という目的のもと、職員は販路の拡大、受注作業を請け負う企業を増やすこと、そして利用者は積極的に商品売ることを目標に活動をしました。

結果的に工賃は前年度と比較すると約1,000円低くなり22,000円台となりましたが、当初20,000円を切り、17,000円台になるのではという見込みにおいては、大変喜ばしい結果になったのではと考えることができます。

一方で作業量の増加や休日出勤における職員と利用者への負担は課題として残っております。そういったものは今後分散していくのか、無くしていくのかなど改善の余地があります。しかしながらこの成果、また姿勢というものは「豆のちかららしさ」として事業所のレガシーになるものではないかと考えております。

(1)豆腐・菓子製造販売

“作って売る”という「豆のちかららしさ」が際立った1年になりました。この1年でほぼ全ての利用者が自主製品の製造に関わることができました。それにより販売時にお客様からの「美味しかったね」という感想が次へのモチベーションとなり、日々少しずつ技術を高め、真剣に商品を製造し、自らが作った商品を一生懸命おすすしめし、販売するという好循環を全体が感じることはできたのではと考えております。

豆腐製造において年度前半は思うような製品が出来上がらず、作ってもほぼ廃棄という状態が続いており販売を一時お休みしておりました。そこで豆乳の仕入れ先を見直し、技術指導を受けることで改善し、販売を再開することができました。

販売について、特におからケーキの需要が高いことが分かりました。地域団体の集まりに使われるお茶菓子のひとつとして配達を希望されるお客様が多かったことが印象的です。また委託販売先としてJA直売所「さいてって」と、「わくわく広場(プラーレ松戸店・ららぽーと新三郷店)」の3件が増え、いずれも好調です。お店の従業員の方からもお客様の反応が良いという評価をいただいております。そのため今後は販売する商品の拡大を目指していきます。

次に移動販売とイベント販売について、移動販売については販売先として地域の団体・企業が数件増えました。また職員の配置や他の業務との関係で移動販売時のルートを見直しました。それにより他の事業で売上げを上げる機会を作ることができました。イベント販売については出店するイベントが増えました。出店依頼が増えたことによるものですが、そもそもの理由として、地域の団体や個人との関係性を深めてきたということが挙げられます。それにより認知度も高まり、依頼が増え、必然的に出店回数も増えたのだと考えられます。地域社会との関係性を深めていくことが売上げだけでなく、障害者理解という面でも大きな意味を持つと考えます。そのような部分では日々の移動販売も重要と考えられます。

最後にその地域の方々やご家族の方々についてですが、やはりお金をいただいて商品を購入していただいている以上、半端な商品は作れないと思います。その意味において、利用者にも真剣に作っていただくよう支援をしています。その過程でやはり難しい時や厳しい時もあります。その時、特にご家族の方々のご理解とご協力というものが必要になってまいります。事業所SNSでの発信を見ていただくことや、実際に利用者が作ったものを食べてもらうことで応援していただくことも重要で、本年度においては特にそれを感じることができました。多くの方々に支えられながら支援が出来ていること、利用者が活動できていることを感じながら、今後も活動をしてまいりたいと考えております。

(2)受注作業

引き続き毎週水曜日にちいき新聞の折り込み作業を行い、その他にも箱折りやネジの組み立て、雑貨衣類等の値付けを行いました。また新たに1社「丸商」から景品のカプセル詰めを受注するようになりました。いずれにしても定期的かつ継続的に受注できる作業が多くなり、利用者へ安定的に作業を提供することができました。そのため前回に引き続き同じ品物の作業をすることになり、利用者の作業能力の向上が図りやすくなりました。実際に箱折りの作業においては従事できる利用者が多数増えました。またそのように出来るようになった利用者を見ることで、互いに良い刺激を与えあうようになりました。

一方で段ボールが増えたことで置く場所に困るという課題が生じております。まず安全性の問題があります。通路が狭くなることで足元が危ないですし、崩れる可能性もあります。また他の依頼を受ける機会の損失にもなります。事業所を広くするわけにもいかないため、どう向き合っていくか課題です。

現在受注している企業は以下の通りです。

- ・(有)ユハラインターナショナル 玩具箱詰め等
- ・(有)ミラクルパワーズ 玩具箱詰め等
- ・(株)ケーワイケー 製函
- ・(株)タカシマ ネジ組み立て等
- ・(株)地域新聞社 ちいき新聞折り込み作業
- ・ブックオフ 松戸駅東口店 雑貨値付け 子供服値付け
- ・丸商 景品カプセル詰め

(3)施設外就労

普段とは違う環境で作業を行うため一歩踏み出すハードルは高いですが、利用者の能力開発や社会性を身に付けるという面で重要です。より多くの利用者に関わっていただきたいため、初めてでも安心して入れる利用者のペアにしていますが、それだけでなく作業に入ることによって得られるメリットをどうしていくかは今後検討していく必要があります。現在請け負っている作業は以下の通りです。

①(株)太田製作所(工場内作業)

工場内でウレタンテープ貼りや住設パーツの組み立て等の作業の一部を行っております。ここでの生産物に誤差が生じてしまうと、次の作業に大きくロスが発生してしまうため、細かい精度が求められる作業となっております。

②(株)太田製作所(清掃業務)

本社ビルや工場内トイレ、食堂等の清掃業務を行っています。自分の担当する清掃場所をそれぞれが清掃するので、作業への責任感が求められます。

③ワタキューセイモア(株)(リネン仕分け業務)

クリーニング工場内で洗濯される前のリネンの仕分け業務になります。体力が必要な作業になるため疲労度の高い作業になりますが、高単価の作業となります。令和6年度2月より体験的に作業に入り、令和7年度4月より本契約になりました。

3 イベント・販売会

月日(曜日)	内 容	主催等
4月21日(日)	新松戸フリーマーケット	新松戸フリーマーケット実行委員会
4月23(火)・24日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
4月29日(土祝)	緑と花のフェスティバル	松戸市観光協会
5月4日(土)	まちのごみぜんぶひろってみたin北松戸	きたまつどごみゼロくらぶ
5月21日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
6月2日(日)	障害者施設食べ物フェア	障害者施設食べ物フェア実行委員会
6月15日(土)	さいいてって初夏の野菜即売イベント	JAとうかつ中央
6月16日(日)	常盤平団地ふれあい広場	常盤平団地社会福祉協議会

6月18日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
7月23(火)・24日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
8月2日(金)	明治安田生命販売会	明治安田生命
8月3日(土)	子どもまつり	シュテツテ
8月21日(金)	明治安田生命販売会	明治安田生命
8月28日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
9月13日(金)	松戸ニッセイデンの園秋まつり	松戸ニッセイデンの園
9月21日(土)	明第二東みんなの秋祭り	明第二東みんなの秋祭り実行委員会
9月28日(土)	丘っこまつり	認定こども園風の丘
10月5日(土)	北小金秋まつり	松里福祉会
10月5日(土)	松戸まつり	松戸市観光協会他
10月12日(土)	みんなの秋まつり	松戸市シルバー人材センター
10月27日(日)	小金地区ふれあい広場	小金地区社会福祉協議会
10月27日(日)	新松戸フリーマーケット	新松戸フリーマーケット実行委員会
11月2日(土)	上二小まつり	松戸市上本郷第二小学校PTA
11月2日(土)	シニア交流際	松戸市高齢者支援課
11月3日(日)	中野学園秋まつり	社会福祉法人あしたば中野学園
11月8(金)・9日(土)	ふれあいフェスティバル	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
11月10日(日)	矢切地区ふれあい広場	矢切地区社会福祉協議会
11月17日(日)	さわやか広場	常盤平地区社会福祉協議会
11月23日(土祝)	まつど大農業まつり	とうかつ中央農業協同組合・松戸市
11月30日(土)	小金原ふれあい広場	小金原地区社会福祉協議会
12月3日(火)	明治安田生命販売会	明治安田生命
12月7日(土)	ふれあいフェスタ	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
12月18日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
2月2日(日)	明第一地区ふれあいまつり	明第一地区社会福祉協議会
3月2日(土)	みんなの春まつりinテノ 21	松戸市シルバー人材センター
3月16日(土)	流鉄トレインマーケット	松戸市観光協会
3月17日(日)	ときわ平くらしフェスタ	常盤平団地地域づくり会議
3月23日(土)	みらいフェスタ	まつど市民活動サポートセンター
3月24日(日)	国分川桜まつり	国分川桜まつり実行委員会

4 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的とし取り組みました。

(1)実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2)内容

①総合訓練(消火・通報・避難誘導を連携して行う) 年1回 未実施

②部分訓練(消火・通報・避難訓練を個別に行う) 年5回

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(地震想定)	4月17日(水)14:55～15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者16・支援者2
第2回(地震・火災想定)	6月25日(火)14:45～15:00	緑ヶ丘2丁目公園	利用者14・支援者3
第3回(地震想定)	9月4日(水)14:55～15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者14・支援者2
第4回(火災想定)	10月29日(火)15:00～15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者13・支援者2
第5回(火災想定)	12月23日(月)15:00～15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者13・支援者3
第6回(地震想定)	3月10日(月)15:00～15:15	緑ヶ丘2丁目公園	利用者14・支援者3

5 実習・見学者

月日(曜日)	内 容	詳細
4月30日(火)	施設見学	つくし特別支援学校教諭
5月 1日(水)	施設見学	個人
5月 1日(水)～	施設見学	つくし特別支援学校 高3年生 母子
5月15日(水)～	施設見学	まつどっこナビ 個人
6月 3日(月)～	実習	矢切特別支援学校 高3年生 6/7まで
6月10日(月)	実習	つくし特別支援学校 高3年生 6/14まで
6月24日(月)	実習	つくし特別支援学校 高3年生 6/28まで
7月 9日(月)	実習	つくし特別支援学校 高2年生 7/11まで
7月 9日(月)	施設見学	矢切特別支援学校 高2年生 母子
7月31日(水)	施設見学	つくし特別支援学校 高2年生 母子
8月 5日(月)	施設見学	つくし特別支援学校 高1年生 母子 2組
8月25日(水)	施設見学	つくし特別支援学校 高1年生 母子
9月 3日(火)	施設見学	つくし特別支援学校 中3・高2年生 母子
9月 9日(月)	実習	つくし特別支援学校 高3年生 9/20まで
9月24日(月)	実習	つくし特別支援学校 高3年生 10/4まで
10月 7日(月)	実習	つくし特別支援学校 高2年生 10/11まで
12月 5日(木)	実習(現場体験)	つくし特別支援学校 高1年生
12月10日(火)	施設見学	矢切特別支援学校 高1年生 母子
2月 5日(水)	施設見学	松戸市危機管理課
3月31日(月)	施設見学	常盤平基幹相談支援センター

6 サービス管理責任者の責務

- (1)利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、同意を得ました。
- (2)特別支援学校等からの利用申込者と面接し、生活や課題等のアセスメントを行いました。
- (3)個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。
- (4)支援に係る他の職員への技術支援と助言を行いました。

みらいず(多機能型事業所)

1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

就労継続支援B型 みらいず・ぱれっと(従たる事業所)

みらいず 男性 6名 女性 4名 計 10名(定員12名)
 ぱれっと 男性 8名 女性 4名 計 12名(定員12名)
 計 14名 8名 合計 22名(定員24名)

(1)年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	1	5	3	1	2	2	14	37.5
女性	0	2	3	2	1	0	8	36.3
計	1	7	6	3	3	2	22	37.1

(2)月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	490	498	486	512	407	461	472	433	443	436	415	474	5527
開所日	22	23	22	23	20	21	23	22	22	21	20	23	262
1日当り	22.3	21.7	22.1	22.3	20.4	22.0	20.5	19.7	20.1	20.8	20.8	20.6	21.1
利用率%	96.8	94.1	96.1	96.8	88.5	95.5	93.3	89.5	91.5	94.4	94.3	93.7	93.8

(3)工賃実績

	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	19人	21人	22人
平均工賃(一人当たり)	20,980円	22,192円	22,221円

生活介護 みらいず

男性 5名
 女性 3名
 合計 8名(定員8名)

(1)年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	0	3	1	1			5	27.6
女性		1	1		1		3	36.3
計	0	4	2	1	1		8	30.9

(2)月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	154	145	144	154	119	125	161	137	138	141	128	142	1688
開所日	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
1日当り	7.3	6.9	7.2	7.0	7.0	6.6	7.3	6.9	6.9	7.4	7.1	7.1	7.1
利用率%	91.7	86.3	90.0	87.5	87.5	82.2	91.5	85.6	86.3	92.8	88.9	88.8	88.3

(3)工賃実績

	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	8名	8名	8名
平均工賃(一人当たり)	5,958円	5,425円	7,718円

2 事業報告

主に受注作業や施設外作業を中心に活動しました。受注作業では、新規取引先も増え、様々な作業に挑戦しながら、個々の強みを生かせるよう支援に努めました。

また、受注の単価向上を目指し、取引先との単価交渉を積極的に行いました。そのためには、今まで以上の正確性や質の高さも求められることとなりますが、必ず利用者が中心となり自信をもって作業ができるよう、環境づくりに努めました。

令和5年10月から松戸市リサイクルセンター内に再生家具室「リユース工房くりくる」がオープンし、施設外就労として松戸市と連携し、リユース品の清掃・販売を行っています。今年度売上は前年度比で112%となりました。利用者の作業の平準化や他事業所との連携の強化により、より効率的な事業運営を行うことができた結果ではないかと思えます。今後も、松戸市やリサイクルセンター等の関係各所と連絡を密にし、SNS等の広報・PRなど活発に行い、売り上げの増加を図って行きたいと思っています。

就労継続支援B型(みらいず・ぱれっと)

(1)施設外就労

- ・太田製作所(工場内作業)
- ・太田製作所(清掃作業)
- ・リユース工房くりくる(リユース品の清掃・販売)

施設外就労では、地域の会社との交流の中で利用者にとってはとても成長できる場所になっています。将来的に就労を考える際には、働くことだけではなく、コミュニケーションやマナーなども必要となるため、事業所の中だけでは体験できない大切な機会となっています。

(2)受注作業

- ・マルヒロ㈱ 金具部品の仮組・網戸張り等
- ・㈱タカシマ ネジ組込作業等
- ・㈱LINER広告社 チラシ折り作業
- ・㈱地域新聞社 ちいき新聞折り込み作業
- ・丸商 アクリルスタンド封入作業

- ・はせがわ アマゾン商品セット等
- ・(有)ユハラインターナショナル ポストカード等
- ・(株)太田製作所 部品・取説等の袋入れ
- ・(株)大成美術プリンティング メモ帳袋入れ等
- ・その他の企業

作業環境を整え、個々の支援を工夫することにより、一人ひとりが役割を自覚し自主的に取り組みが行えたように感じます。活動の中では特に、本人のできない事に着目するのではなく、できる事、得意なことを増やしたり伸ばしたりしながら、本人の自信につながる働きかけを意識し取り組みを行いました。

(3)余暇活動等

- ・調理実習・テイクアウト
- ・誕生日会
- ・クリスマス会

生活介護

(1)受注作業

- ・マルヒロ(株) 金具部品の仮組等
- ・(株)タカシマ ネジ組込作業等
- ・(株)LINER広告社 チラシ折り作業
- ・(株)地域新聞社 ちいき新聞折り込み作業

(2)余暇的支援等

- ・調理実習・テイクアウト
- ・誕生日会
- ・クリスマス会
- ・買い物支援
- ・ドライブや散歩

毎月第 4 金曜日に、調理実習やテイクアウトと合わせ、誕生日会を行いました。誕生日月の利用者を優先にメニューを決め楽しみました。行った直後から、次の月のメニューを気にする利用者もあり、月一度の恒例の楽しみになっています。

(3)健康観察

週一回、看護師が来所し、利用者のバイタルチェックや相談を行いました。

3 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的として以下のような取り組みを行いました。

(1)実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2)内容

- ①総合訓練(消火・通報・避難誘導を連携して行う) 年1回 未実施
- ②部分訓練(消火・通報・避難訓練を個別に行う) 年5回

みらいず(多機能型)

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(地震想定)	4月17日(水)11:40~11:55	稔台第2公園	利用者13・支援者5
第2回(火災想定)	6月13日(木)14:50~15:05	稔台第2公園	利用者16・支援者5
第3回(地震想定)	8月22日(木)11:50~12:00	稔台第2公園	利用者15・支援者5
第4回(火災想定)	10月10日(木)11:40~11:55	稔台第2公園	利用者16・支援者5
第5回(地震想定)	12月24日(火)11:50~12:00	稔台第2公園	利用者14・支援者5
第6回(火災想定)	2月14日(金)11:40~11:50	稔台第2公園	利用者17・支援者5

ぱれっと

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(火災想定)	5月27日(月)9:11~9:16	広手公園	利用者10・支援者3
第2回(地震想定)	6月12日(水)14:35~14:45	広手公園	利用者12・支援者4
第3回(地震想定)	8月23日(金)10:40~10:50	広手公園	利用者11・支援者3
第4回(火災想定)	10月17日(木)9:05~9:20	広手公園	利用者10・支援者3
第5回(地震想定)	12月26日(木)15:10~15:20	広手公園	利用者11・支援者3
第6回(火災想定)	2月14日(金)11:40~11:50	広手公園	利用者10・支援者3

4 実習・見学者

月日(曜日)	内 容	詳細
5月30日(木)	施設見学	明第二地区民生委員
6月17日(月)~	実習	東京みらい大学生 6/28まで
7月18日(木)	施設見学	矢切特別支援学校1年生 母
8月27日(火)	施設見学	矢切特別支援学校3年生 母子
12月9日(月)~	実習	矢切特別支援学校3年生 12/10まで

5 生活支援について

利用者本人の困りごとの相談や仕事の指導・支援、日常生活を安全・安心して過ごせるように、職員全体会議や、事業所内で月1回のケース会議等を行い職員共有として取り組みました。

6 サービス管理責任者の責務

- (1)利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、利用者・家族に同意を得ました。
- (2)特別支援学校等からの利用申込者と面接し、生活や課題等のアセスメントを行いました。
- (3)個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。
- (4)支援に係る他の職員への技術支援と助言を行いました。

共同生活援助花音(グループホームルピナス1・2)

1 利用者の状況(令和7年3月31日現在)

障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
ルピナス 1				1	1		2
ルピナス 2			1	1	2		4
合計			1	2	3		6

年齢別の状況

	20～29	30～39	40～49	50～59	計
男性	1		1		2
女性	1	1	1	1	4
計	2	1	2	1	6

2 事業報告

令和6年度の利用者入・退去者は各1名ありました。またロングショート利用者は1名おります。現在の利用者は、それぞれのルーティンをもち、お互いを認め合いながら生活をしているように思われます。

今年度は支援員の不足もあり働き方には大変な思いもありましたが、支援員も毎月の勤務に協力をいただきました。次年度においては、ようやく支援員補充ができる見込みでございます。

毎日の生活においては、利用者がゆっくりとできる、思い思いの時間が過ごせることができるようにとの思いで運営してまいりました。また、個々の悩みや相談事を聞いてあげられるように利用者とのコミュニケーションをとることを、支援員に指導してきました。その結果利用者は毎日の出来事など嬉々として話をしています。

令和6年度報酬改定により、共同生活援助施設において令和7年度より「地域連携推進委員会」を開催することが義務付けられました。花音においては、会議の構成員には利用者本人を含む6名を選任しております。施設の透明性や地域との関係づくり、利用者の権利擁護などを目的としており、これにより地域共生のひとつとして関われることを大いに期待するところです。

3 生活支援について

利用者本人の困りごとの相談や仕事の指導・支援、日常生活を安全・安心して過ごせるように、職員・世話人・夜勤者それぞれの関りごとを分担して取り組み、職員会議や各事業所のミーティングに諮り共有して参りました。

- (1)就寝・起床・食事・入浴などの生活リズムを整えるように声掛け支援しました。
- (2)公共交通機関を使って通所する利用者には、適宜な時間等共に確認し見守り支援しました。
- (3)できる限り、自己決定に基づいた生活が送れるよう支援しました。
- (4)主体的に生活できるよう見守り支援しました。
- (5)クリスマス会など季節の行事や誕生会などのお楽しみ会を行いました。

- (6) 困りごとの相談や、できない事を把握し教えるなど支援をしました。
- (7) 夜間の見守り支援を行いました。
- (8) 利用者のプライバシーには十分配慮し、一人ひとりに合わせた支援に努めました。

4 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的としており以下のような取り組みを行いました。

(1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2) 内容

① 総合訓練(消火・通報・避難誘導を連携して行う) 年1回

② 部分訓練(消火・通報・避難訓練を個別に行う) 年5回

ルピナス1・2

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(火災想定)	5月29日(水)16:40～16:50	下菰公園	利用者7・支援者2
第2回(地震想定)	7月23日(火)16:45～17:00	下菰公園	利用者8・支援者2
第3回(火災想定)	9月24日(火)16:45～17:00	下菰公園	利用者8・支援者2
第4回(地震想定)	12月25日(水)16:20～16:35	下菰公園	利用者6・支援者2
第5回(火災想定)	3月18日(火)16:45～17:05	下菰公園	利用者6・支援者2
総合訓練(火災想定)	2月18日(火)16:40～17:00	下菰公園	利用者6・支援者2

※短期入所利用者も参加しています。

共同生活援助花音 短期入所

1 利用者の状況(年間)

月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人数	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	22
延利用日数	52	29	30	30	24	28	30	29	28	26	27	36	369

2 事業報告

令和6年度は、短期入所者9名受け入れをしました。5月から2月については、ロングショートを受け入れたため、空床がなく、随時の受け入れができませんでした。3月よりまた随時受け入れを行えるようになり、グループホームでの生活を体験し将来の自立に向けて見通しを持てるように期待するところです。

3 生活支援について

花音(共同生活援助)の生活支援報告内容と同様にいたしました。